

## 【議事(2)】既存路線のダウンサイジングに向けた取組みについて

予算額25百万円  
地域公共交通計画推進事業  
[熊本県交通政策課]

- 運転士不足等に起因するバス路線の減便・廃止が発生し、交通空白地域の拡大が深刻化している現状を踏まえ、バスとタクシーの連携や車両の小型化など、従来の枠組みにとらわれない運行形態への転換が求められている
- 限られた輸送資源を最大効率で活用するため、利用者が少ない既存バス路線（一部区間）において、大型バスから実態需要に合った小型車両等へ置き換えるダウンサイジング実証運行を実施する

### <現状・課題>

#### 【現状】

- 運転士不足等に起因するバス路線の減便・廃止が発生している

#### 【事例】

九州産交バスは運転手不足を理由に、令和8年2月7日から3月28日までの土曜日において、熊本都市圏を運行する一般路線を対象に特別減便ダイヤで運行  
その結果、全体の17.2%にあたる142便が減便となった

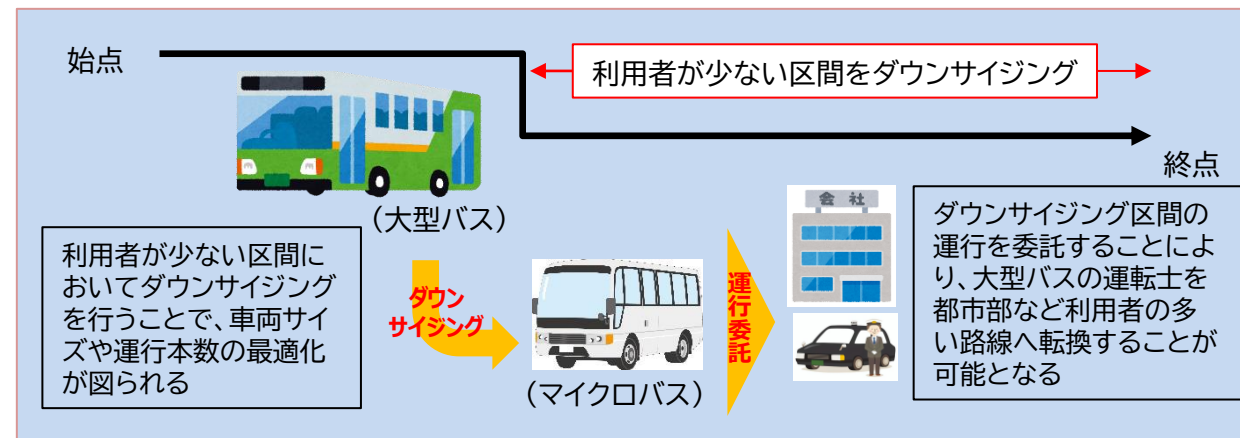
#### 【課題】

- バス路線の減便や廃止により、通院、買い物、通学などの基本的な移動が制限される交通空白地域が拡大しており、住民の生活に直接的な影響を及ぼしている
- これらの課題に対応するため、利用者が少ないバス路線の小型化や運行本数の見直しを図るなど、限られた輸送資源（運転士・車両等）を最大効率で活用していくことが必要

### <事業概要>

- 全体事業費：25百万円
- 事業内容：
  - (1) ダウンサイジングに必要な車両購入に対する助成
  - (2) 効果検証に係る委託料
- 負担割合：国2/3、県1/3
- 事業主体：県、熊本バス（株）、（株）麻生交通
- 事業期間：令和8年度

### <イメージ図>



## ○ 事業内容

交通サービス：路線バス

運行形態：路線定期運行

法定区分：4条乗合

運行区間：御船町恐竜博物館前～通潤山荘

運行頻度：平日のみ、132回（66回/月）を計画

運賃：路線バスの運賃と同一を想定

実施内容：熊本バス・麻生交通が運行主体となり、バス路線の利用が少ない時間帯は、需要に合った小型バスへの置き換え（ダウンサイジング）による実証運行を実施。

※熊本バスから麻生交通へ運行委託

※桜町BT～通潤山荘については、大型バスによる通常運行を継続

## ○ 見込まれる事業効果

- ・本取組みを通じて得られた運行モデルは、他のバス路線への展開が可能となるモデルケースとなる。
- ・ダウンサイジングを行うことにより、1便当たりの運行経費の縮減や乗車率・輸送効率の改善が図られる。
- ・大型バスの運転士を都市部など利用者が多い路線へ転換することが可能となる。
- ・需要に応じた効率的な運行と他の交通モードへの運行委託とを組み合わせることで利用者が少ないバス路線の休廃止を防止できる。

## ○ スケジュール（予定）

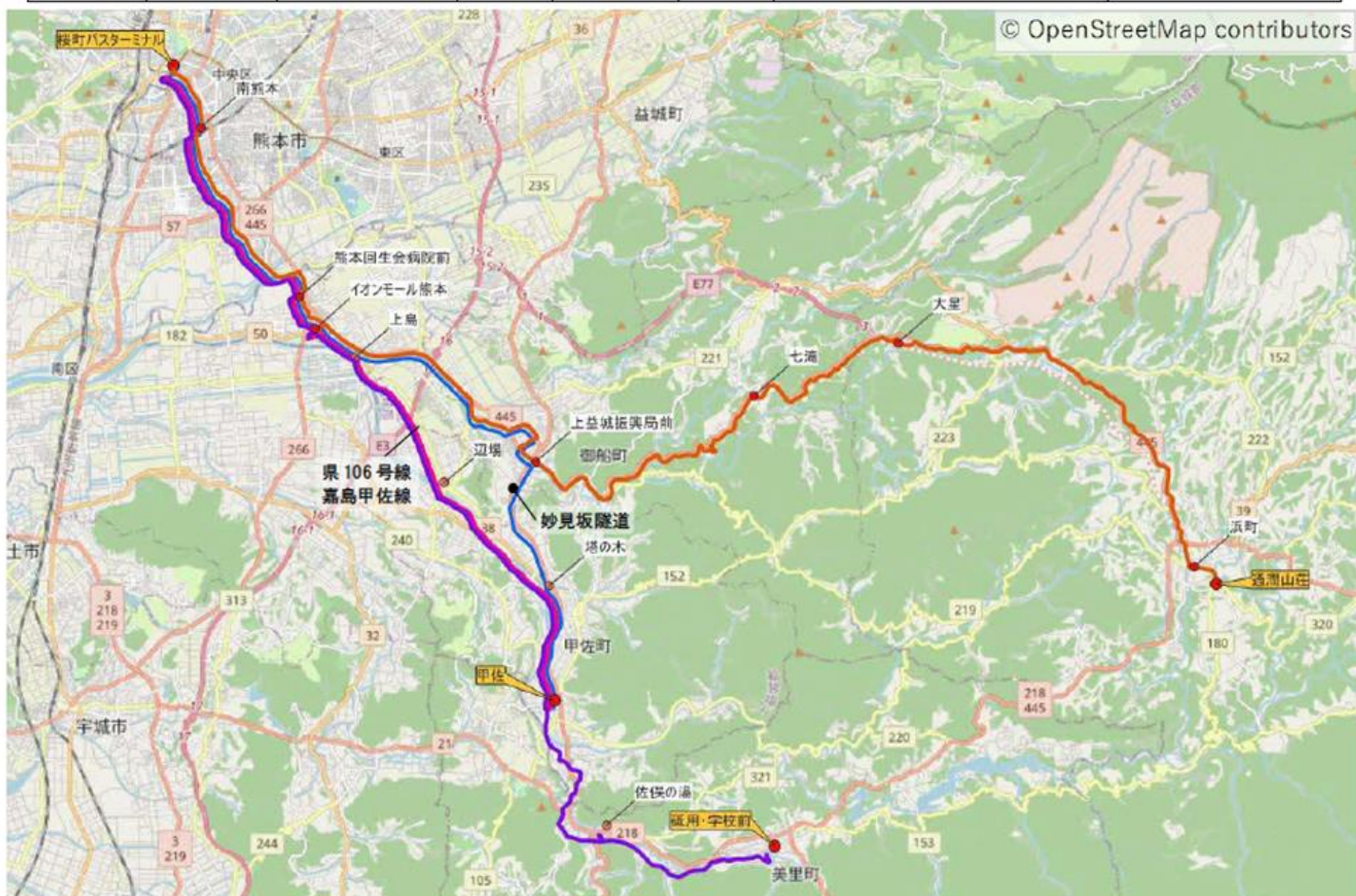
令和8年8月～ 車両の購入・道路運送法に基づく管理受委託手続き（3カ月）

9月～ 実証運行開始の周知

12月～ 実証運行の開始（2か月間）

【参考：路線図】 ※熊本県地域公共交通計画から抜粋

| 申請番号 | 路線名    | 起点        | 経由地 | 終点    | キロ程  | 関係市町村名              | 線の色   |
|------|--------|-----------|-----|-------|------|---------------------|-------|
| 1    | 直行線    | 桜町バスターミナル | 御船  | 通潤山荘  | 47.3 | 熊本市・嘉島町・御船町・山都町     | オレンジ色 |
| 2    | 碓氷線    | 桜町バスターミナル | 辺場  | 碓氷学校前 | 33.8 | 熊本市・嘉島町・御船町・甲佐町・美里町 | 紫色    |
| 3    | 辺場・甲佐線 | 桜町バスターミナル | 辺場  | 甲佐    | 22.9 | 熊本市・嘉島町・御船町・甲佐町     | ピンク色  |
| 4    | 御船・甲佐線 | 桜町バスターミナル | 御船  | 甲佐    | 25.1 | 熊本市・嘉島町・御船町・甲佐町     | 青色    |



※オレンジ色の一部区間（御船町恐竜博物館前～通潤山荘）において、ダウンサイジングによる実証運行を実施する。